

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こころとからだの発達相談室 えいところ (児童発達)		公表日		令和 8年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・あそびエリア、動作法エリア、課題エリア、個別スペース等備えており、利用定員に対しての広さは確保されています。 ・同時間帯の定員は最大3名としており、1～3人の少人数でお子さんに合わせた支援が行えるようにしています。 ・限られたスペースの中でも安全に活動できるよう配慮しています。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・配置基準以上に職員配置をしています。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・活動毎にスペースを区切り構造化しており、視覚的に個別スケジュールの提示をしています。 ・すべてはバリアフリー化していませんが、トイレなどバリアフリー化しており、避難スペース等必要な情報はわかりやすく視覚的に提示しています。玄関外の段差にはスロープを設置しております。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・セッション前後に清掃・消毒を行い、衛生面に気を配り、不快な印象を与えないように努めています。 ・室内の清掃や整理整頓を心がけ、安心して過ごせるように環境づくりに努めています。 ・遊び・ワーク・動作法と活動毎にスペースを分けて構造化しており、パーティションを活用して、静の活動にも動の活動にもすぐ対応できるようにしています。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・カームルーム（テント）や動かせるパーティションを使用し、必要に応じてより刺激を少なくする環境づくりをしています。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に改善点の振り返りを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート勤務の職員もおり、不在の日もあるため、引継ぎに必要な情報は振り返りシートを作成し、情報の共有が計れるように取り組み始めました。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングだけでなく、個別で代表面談を行い業務改善につなげています。 ・改善に向けて意見を出し合える環境です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート勤務の職員にも情報伝達の漏れがないように、週に1回は皆が揃ってミーティングを行えるように時間の調整を行います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の方の見学を積極的に受け入れ、相談員さんや園・学校の先生にも見てもらい意見をいただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き積極的に受け入れ、風通しのよい職場づくりを目指します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・動作法の研修会には全員が参加しています。 ・事業所内の研修だけでなく、外部の研修にも積極的に参加をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修などにも積極的に参加していきたいと思っています。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・作成し、保護者の方には紙面でお渡しをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの作成を準備しており、広く公表して行きたいと思っています。 	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・丁寧に面談しアセスメントを行った上で策定しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員間で情報共有を行い、検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ミーティングで共有し、日々の記録でも振り返りをしています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・フォーマルは医療機関のものを参考にしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・担当が立案しシェアしているが、意見を出し合いながら試行錯誤しています。 ・小グループでの活動は、月ごとに何をするかを決めておくことで全員への周知がしやすかったように思います。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・日々の様子や子供の興味・発達段階に応じて見直しています。		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・子供の特性に応じて個別・集団活動を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	・打ち合わせをし、確認したうえで支援を開始しています。 ・朝が難しい場合は前日に行うよう努力しています。 ・打ち合わせや振り返りが十分にできていないことがあります。	・来年度からは打ち合わせの日時を決めて行うようにしていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・子どもの様子で気づいたことなど共有していますが、休みの職員など伝達が不十分なことがあります。 ・記録への書き込みも全員でしています。	・来年度からは打ち合わせの日時を決めて行うようにしていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎回必ず記録をとり、支援内容の検証や改善につなげています。 ・支援計画を記録用紙にも載せており、情報収集に努めています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・子どもの様子を見て、予定よりも早く見直しを行うこともあります。		
	関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参画しています。	
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・必要に応じて連携しています。	
		26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・就学の際には、引継ぎ会や担当者会などに参加し、情報共有を円滑な移行につなげるようにしています。	
		28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	4		・必要に応じて検討します。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		・ご利用の皆様それぞれに所属先があるため必要性を感じておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者同席のため常に話をしており、家庭や園での様子など聞き取りをし、課題についても共通理解を持っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・今年度よりペアレント・トレーニングも少人数で行っております。 ・必要に応じて個別で助言をさせていただいております。 ・動作法や防災、視覚支援などの研修会にお声をかけさせていただきました。	・今後は様々な保護者向けの研修の機会を設けていきたいと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・面談をして希望を確認し、こちらの見立てと合わせて作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・利用時に保護者との会話を大切にしており、必要に応じて個別で面談など家族支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・併行利用の際やペアレント・トレーニングなどで交流する機会があり、保護者さん同士での情報交換が見られています。	・父母の会の活動については今後行っていきたくて予定を立てています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・活動内容をSNSで発信しています。	・発信力の弱さを感じているため、検討していきます。 ・ホームページについて現在作成準備中です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・『おめめどう』のツールを使用し、わかりやすく伝えていきます。 ・巻きカレンダーなどご利用してくれる保護者さんが増えてきています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・災害を想定した避難訓練等は定期的を実施しており、今年度は防災週間を設けて保護者の方にも避難方法など周知を行いました。	・災害や感染症の訓練はできていますが、防犯など様々な想定をした訓練も今後行います。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		・保護者同席ということもあり、予防接種までは把握できておらず、情報収集の甘さを感じており、情報収集をしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・食事の提供はしておらず、指示書はありませんが、保護者さんにアレルギーの有無については確認をしています。	・非常事態に備え、非常食もアレルギーに配慮した物を準備します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・施設内に避難方法について提示したり、LINEで訓練の様子をお知らせしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットやアクシデント等があった際には、すぐに共有・検討をして再発防止に努めています。	・小さなヒヤリハットもしっかりと記録し、共有、改善につなげます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・体制は整えています。	・対応が必要なお子さんが現在はいませんが、必要に応じて対応します。